

このメールがお読みにできない場合は[ブラウザで閲覧してください。](#)

# CERA

Chartered Enterprise Risk Analyst

# CERA

Chartered Enterprise Risk Actuary

<http://www.ceraglobal.org/> | ログイン | 連絡先

2015年10月20日

メンバー各位

## CERA ニュースレターへようこそ

新しいCERA ウェブサイトを立ち上げて以後最初のCERA ニュースレターにようこそ。

サイトをまだ見たことがない方は、どうか一度のぞいてみてください。情報源、新着情報、記事、仲間のCERA、新顔のCERA、興味深いデータ、さらに多くの事柄が掲載されています。

CERAであるあなたは、拡大しつつあるグローバルコミュニティの一員です。国際CERA協会(the CERA Global Association: CGA)は、世界のCERA資格者が今や**2800**名に達したとお知らせできることを嬉しく思います。2014年8月からなんと**23%**も増加しています。

有能なERMの専門家が世界中で求められる中、CGAは、現在取得可能な最も包括的で厳格なERMの資格の一つであるCERAの注目度を高めるために尽力しています。

**CERAの持続的な成長を実現するには、CERA資格者のみなさん一人ひとりのご協力が必要です。**あらゆる機会にあなたのその資格を推奨してください。

目次：CGA 理事会、フランク・サバティエニ会長 | 新しいCERA ウェブサイトの「CERA 検索」機能 | CERA 資格の促進に向けたCGAの取り組み | 世界のCERAファミリーが英国と日本で経験を共有 | 心から歓迎！ | CERAのピート・ロッシ氏が語る | 加盟アクチュアリー会からの新着情報 | 興味深い記事の紹介を求む | 行事予定：10月~12月 |

## IFoA が CERA セミナーの補助者を募集 |

### CGA 理事会、フランク・サバティニーニ会長

11月をもってCGA会長の任期が終了します。充実した印象深い3年間でした。また11月には、インドのハイデラバードにおける協定調印によりCGAが設立されてから6周年の節目を迎えます。CGAは多くの点で大きな進展を遂げたと言えるでしょう。

続きを読む >>>> (別紙1を参照)

### 新しいCERAウェブサイトの「CERA検索」機能

自分の名前が掲載されていることの確認を！

「CERA検索 (Find-a-CERA)」機能は、CERA資格者を、他のCERA資格者、雇用主およびその他の人が見つけ出すことのできるツールです。CGAは、CERAの個人情報保護に大きな注意を払っており、自身に関するデータの保存・使用・共有に同意したCERA資格者の情報のみが表示されます。それらの資格者についてはプロフィールが自動的に作成されます。

人数確認および監査のために、CGAはCERA資格者全員の氏名、資格取得日および取得したアクチュアリー会の記録を保管しています。この情報は、ニュースレターの配信のために使用され、「CERA検索」機能を通じて共有されます。CERA資格者が3つの基準すべてに同意しない場合、すべての他の個人情報は安全に破棄されます。

「CERA検索」機能で表示されることを希望するCERA資格者は、**CERA管理者**にご連絡ください。

### CERA資格の促進に向けたCGAの取り組み

私ドーン・マッキントッシュと同僚のトーマス・エバンス、ドナ・メルドラム、バーバラ・ビービーから成る小さなチームが、CERA資格の促進と管理を担当しています。CERA資格者は、昨年の今頃から23%増加し、今や2800名に達しています。私たちはウェブサイト、ニュースレター、プレスリリース、広告、事例紹介に加え、イベントなどでCERAブースを設置して無料資料

を配付するなどして CERA 資格の促進を図っています。IFoA の年次リスク・投資会議で試みた 1 つの活動は、出席登録した CERA 全員にメールを出して、CGA のブースに立ち寄り、CERA 資格を促進することを目的とするインタビューのために 10~15 分の時間を割いてくれるよう呼びかけたことでした。この試みは、さらに数件の事例紹介を収集したという点だけでなく、CERA コミュニティの発展という点でも成功を収めました。今後の取り組みでは雇用主や大学に重点を置く予定です。

## 世界の CERA ファミリーが英国と日本で経験を共有

2014年12月、英国アクチュアリー会 (IFoA) は、IFoA の CERA セミナーの運営を視察する目的で訪れた日本アクチュアリー会 (IAJ) の 2 名の訪問者を喜んで迎えました。

松山教授と松平氏は、この機会に感謝するとともに、この 1 日セミナーの企画・実施の素晴らしさに感銘を受けたという感想を述べました。両氏は、日本における自国版の CERA セミナーの実務性や双方向性をいかに強化するかについて、有意義なアイデアを得て帰国しました。**続きを読む。(別紙 2 を参照)**

心から歓迎！

### 新 CERA の皆さんへ！

過去 3 カ月間に資格を取得した 150 名の新 CERA を心から歓迎します。CERA ウェブサイトで紹介していますのでご覧ください。

### 2 つの新たな協定加盟団体 (Acceding Party) へ！

Aktuarvereinigung Österreichs

(オーストリア・アクチュアリー会)

Istituto Italiano degli Attuari

(イタリア・アクチュアリー会)

## CERA のピート・ロッシ氏が語る

ピート・ロッシ氏、米国アレクサンドリアにある国防省保険数理局 (DoD OACT) の CERA・アクチュアリー

「CERA 資格がキャリアに大変役立ちました。私は非伝統的な保険数理の実務分野や、保険数理以外の実務分野にさえ足を踏み入れました」

**続きを読む >>>> (別紙 3 を参照)**

## 加盟アクチュアリー会からの新着情報

### ドイツ・アクチュアリー会

ドイツ・アクチュアリー会 (The Deutsche Aktuarvereinigung e.V : DAV) は、21 名の新 CERA 資格者が誕生することを喜ばしく思います。現在までに DAV の 144 名の会員がこの資格を取得しており、DAV は、150 人目の CERA 資格取得者を祝福するのを楽しみにしています。

### カナダ・アクチュアリー会

カナダ・アクチュアリー会 (CIA) は、アクチュアリー専門職の内部・外部で ERM を促進する一助として 2007 年に ERM 活用委員会 (ERM Applications Committee : ERMAC) を設置しました。現在、CIA の会員総数は 5,125 名ですが、そのうち 178 名の会員が ERM を自身の主要実務分野、218 名が第二の実務分野と述べており、その合計は 396 名となります。現在のところ、CERA 資格を保有する会員は 198 名です。

CIA は SOA のジョイント・リスク・マネジメント・セクション (JRMS) の提携相手です。JRMS の ERM シンポジウム組織委員会には ERMAC から数名のボランティアが加わっています。ERMAC は 4 つのインターネット放送を企画しており…

**続きを読む >>>>**

## 興味深い記事の紹介を求む

CERA ウェブサイトの「**news and resources (ニュースと情報源)**」のページに、ERM の人気記事・論文コーナーを設けています。その中には、CERA が執筆したものも含まれています。

当サイトでは閲覧者や CERA の方々からの協力をお待ちしております。皆さんの読んだ記事、書籍、論文のなかに面白いものがあれば、是非ご紹介ください！

米国アクチュアリー会の会員が「**ERM for Small and Medium-Sized Enterprises (中小企業にとっての ERM)**」を紹介してくれましたので、そのリストに追加しました。

行事予定：10月～12月

**第1回 EAA リスク管理サミット**

10月29日、ドイツ、フランクフルト、エアポート & カンファレンス センター

**第19回アジア・アクチュアリー会議**

11月3日～6日、タイ、バンコク、シャングリラ・ホテル

CGA がスポンサーに加わっています。ブース12にお立ち寄りください。

上記イベントに関する詳しい情報については、CGA のウェブサイト上の events ページをご覧ください。

## IFoA が CERA セミナーの補助者を募集

### CERA セミナー — 最高／上級リスク管理責任者と ERM 実務家

英国アクチュアリー会 (IFoA) の教育・評価責任者 (Head of Learning and Assessment) が、CERA セミナーで最高／上級リスク管理責任者および ERM 実務家の役割を引き受けてくれる積極的で革新的な会員2名を求めています。このセミナーは、ST9 (ERM 専門技術) 試験を補完し、実務的な「現実世界」における ERM の活用に関する知見を提供することを目的としています。

この募集に関する詳細は、IFoA のウェブサイト上の Volunteers Vacancies (志願者募集) のページで閲覧できます。

このメールは、メールアドレスが CGA のメールリストに登録されている方に送信しています。[メールアドレスは表示していません]

CGA が送信するすべての E メールニュースレターの講読中止を希望する方は、ここをクリックしてください。

## 世界 CERA 協会 (CGA) のフランク・サバティエニ理事長が 3 年の在任期間を振り返る

11月をもって国際 CERA 協会 (CGA) 理事長の任期が終了します。充実した印象深い 3 年間でした。また 11 月には、インドのハイデラバードにおける協定調印により国際 CERA 協会が設立されてから 6 周年の節目を迎えます。CGA は多くの点で大きな進展を遂げたと言えるでしょう。

この 3 年の間に、CGA は CGA を支えるインフラの構築から CGA ブランドのマーケティング能力の拡充へと移行してきました。この間に達成された主な事項として以下のことが挙げられます。

1. 「CERA 検索機能」も備え、強化されたウェブサイトの設計と立ち上げ ([www.ceraglobal.org](http://www.ceraglobal.org))
2. 定期的なニュースレターの創刊 (最終的には毎月発行)
3. 資格付与署名者との定例的な電話会議による連絡の拡大と強化
4. ワシントン DC における国際アクチュアリー会議やアジア・アクチュアリー会議など、世界各地の多数のイベントにおける展示
5. 資格付与署名者およびその会員が使用する CERA マーケティングツールキットの作成

過去 3 年間に、以下の資格付与署名者が新たに加わり合計 16 団体になりました。

1. 台湾アクチュアリー会
2. デンマーク・アクチュアリー会 (Den Danske Aktuarforening : DDA)
3. インド・アクチュアリー会
4. オランダ・アクチュアリー会 (Koninklijk Actuarieel Genootschap)
5. スイス・アクチュアリー会 (Schweizerische Aktuarvereinigung)

さらに、以下の 2 つの新たな協定加盟団体が協定に加わった上、多くの団体が協定加盟の申請準備を進めています。

1. オーストリア・アクチュアリー会 (Aktuarvereinigung Österreichs)
2. イタリア・アクチュアリー会 (Istituto Italiano degli Attuari)

過去 3 年にわたり、ポール・キング氏率いる CGA 審査委員会が個々の資格付与署名者の審査を熱心に行い、それぞれの CERA 資格認定プロセスが CGA の厳格な資格基準を充足していることを確認してきました。すべての資格付与署名者から参加してくださったボランティア全員に対し、その重要な貢献について感謝します。

また、私の在任中を通じて支えてくださった CGA 理事会に謝意を表します。特に、CGA 職員のトレバー・ワトキンス氏、ドーン・マッキントッシュ氏およびトーマス・エバンス氏に感謝して

います。

米国アクチュアリー会（SOA）独自の画期的な ERM 資格としてスタートしたものが、世界的に認知された ERM 資格になりつつあります。オーストラリアのフレッド・ローリー氏に率いられた初代 CGA 理事会の取り組みが、今や世界的な成功を収めたとみなせるまでになりました。CERA 資格取得者のひとり一人に対しては、あらゆる機会を通じて自分の資格を普及推進することにより、CERA が ERM 資格として引き続き世界的に認知されるよう CGA を支援してくれることをお願いしたいと思います。来年、再来年と、CGA はアクチュアリー、雇用主、規制当局および社会全般に対してこの資格を積極的に推進していきます。今後の躍進を引き続き期待しています。

## 世界の CERA ファミリー：英国と日本で経験を共有

2014年12月、英国アクチュアリー会（IFoA）は、IFoAのCERAセミナーの運営を視察する目的で訪れた日本アクチュアリー会（IAJ）の2名の訪問者を喜んで迎えました。

松山教授と松平氏は、この機会に感謝するとともに、この1日セミナーの企画・実施の素晴らしさに感銘を受けたという感想を述べました。両氏は、日本における自国版のCERAセミナーの実務性や双方向性をいかに強化するかについて、有意義なアイデアを得て帰国しました。

その返礼として、トレバー・ワトキンス博士（教育担当ディレクター）と私はIAJの招待を受け、7月に日本を訪問しました。そして、リスク管理に関心を抱く他のアクチュアリーと会うと同時に、英国のアクチュアリー専門職やCERAに関する仕事に関して、またより広くERMに関連して、多くの講演を行いました。

その過程で、私たちは光栄にも、明らかにCERA資格の発展や促進に誇りと関心を抱く、日本の極めて多数のアクチュアリーと会う機会を得ました。

何にも増して、こうした機会は、CERA資格の国際的な性質や、両国が互いに地球の反対側にありながら多くの共通点があることについて、それぞれが確信を強める結果をもたらしました。

私たちは最初、300名ほどのIAJメンバーが出席した大きな部屋で講演し、新たな公認保険数理アナリスト（CAA）の資格を含め、IFoAの資格への取り組みについて説明しました。IAJメンバーは最近、そのERM資格委員会によるCERAに関するプレゼンテーションを受けたばかりであったため、私たちは、大学の役割も含め、CERA資格が英国でどのように付与・管理されているかについてを中心に説明しました。そして、資格者数および次第に増加する加盟国を通じた広がりの中で、CERAが世界的に大きく成長していることを示すデータを提示しました。

翌日、私は、科目ST9の合格に熱意を燃やす日本の受験生や他のアクチュアリーへのST9受験支援を熱心に行っている方々に短時間のチュートリアルを行い、その機会を大いに楽しみました。そこでは、受験テクニックや試験委員が求めていることへの理解を中心的に取り上げました。

その後、私は英国におけるCERA資格の付与方法に一層焦点を絞った講演を行いました。そして、英国のCERAセミナーで使用されているケーススタディのうち、エコノミックキャピタルのモデリングと配賦、リスク管理のガバナンスとリスクカルチャー、および伝播リスク（システ



ミックリスク)の3つを取り上げて簡単に説明しました。また、モデルリスクおよびエマージングリスク(サイバーリスク等)を含め、英国のERMアクチュアリーが現在注目する論点についても話しました。

私たちが行った3つの講演等すべてで受けた質問は、洞察力のある興味深いものでした。聴衆のフィードバックは大変好意的でした。また、ERMアクチュアリーとして私たちが抱く関心や懸念が互いに類似していることも分かって興味深かったのですが、他方、いくつかの違いも明らかになりました。例えば、日本では、リスクを戦略的に活用すべき機会として捉える見方が英国ほど重視されていないように思われました。また、英国の女性アクチュアリーとして話した私の目には、講演に出席したIAJメンバーの男女比が圧倒的に男性優位に映りました。

ご担当の吉村雅明氏(CERA理事会代議員)と辻芳彦氏(協定書連絡担当者)には大変お世話になりました。両氏がいなければ、私たちはあれほど様々な日本の伝統料理を試す勇気を持つことはほとんどあり得なかったでしょう。あれは忘れ難い体験となりました。また、仕事のスケジュールは相当に立て込んでいたものの、それでも将軍家の庭園だった美しい浜離宮を含め、東京の一部を観光する時間を持ってました。残念なことに、台風11号のために私たちが予想した以上にかなり蒸し暑く、風も強かったのですが、わずかに直撃を免れたことは幸いでした。

全体として、私たちは、日本のアクチュアリー専門職の中にCERAが組み込まれ、採用されている状況、および私たちが日本で出会ったアクチュアリー、特に新人のCERA(それに、もうすぐCERAとなる人々)から強い印象を受けて日本を離れました。

この訪問が、両加盟国が世界のCERAファミリーの中で有する重要性を高めるのに役立つものとなったことを心から願っています。

日本の主催者に「乾杯」!

乾杯

リンゼイ・スミザーマン(Lindsay Smitherman)、FIA(正会員)  
教育アクチュアリー  
英国アクチュアリー会

## ピート・ロッシ氏

米国アレクサンドリアにある国防省保険数理局（DoD OACT）の CERA・アクチュアリー

「CERA 資格がキャリアに大変役立ちました。私は非伝統的な保険数理の実務分野や、保険数理以外の実務分野にさえ足を踏み入れました」

私は 2003 年にペンシルベニア州立大学を卒業してからずっと DoD OACT に勤めています。私の仕事は、DoD の軍人退職制度、退職者医療給付制度および教育給付プログラムに関連する責任準備金計算やコスト分析等の、OACT のチーフアクチュアリー代理の業務を補助することです。

仕事に就いて間もないころからすでに、アクチュアリー専門職が保険や医療、年金といった伝統的な実務分野よりも大きな何かにつながると期待していました。私には最高（何とか）責任者になるという目標があり、それを達成するための現実的な方法を探していました。

様々な試験にトライしているときに CERA 資格に出会いました。しっかりしたカリキュラムや包括的なリスク管理は、進むべき道として魅力的でした。私は、CERA を通じてキャリアの大望が実現され、輝かしいキャリアパスを歩めると考えました。

CERA 資格がキャリアに大変役立ちました。

私は非伝統的な保険数理の実務分野や、保険数理以外の実務分野にさえ足を踏み入れました。組織の幹部は、どんなトピックでも合理的で偏りのない決定を下すために定量分析と定性分析のバランスを図る私の能力を評価してくれています。多くの事案で、私はもはや、他の「伝統的な」アクチュアリーと共に「裏方」に回されることはありません。

さらなる勉強をすることはキャリアへの十分な効果がありました。この資格／証明書のおかげで他のアクチュアリーや同僚との差別化が可能になりました。さらに、私のキャリアパスは、伝統的なアクチュアリーの経歴の持ち主から見れば未知の領域をたどってきました。

一般に信じられていることとは異なり、ERM はそれだけで「永遠の幸福（rainbows and unicorns）」ではありません。ERM は、教育と経験によって長年かけて磨き上げられた洗練されたスキルを必要とします。リスクの包括的な評価、アセスメントおよび管理を行うことは、世界が現在直面し、将来直面するであろう多くの問題の緩和に役立ちます。

リスクは至るところに存在しています。リスクは脅威であり、機会であり、強みであり、弱みです。潜在的なリスクを適切に管理する能力は、専門職としても私生活においても役に立ちます。言い換えれば、合理的なベイジアン流の思考法を理解すれば、いずれはより頑強な意思決定を下

2016年3月29日掲載版

せるようになります。このことは社会全体にとって真の利益になります。